

全世代と19～23歳、かつ学生の『年賀状』に関する比較アンケート調査

株式会社イオレ(東京都世田谷区:代表取締役社長 吉田直人)が運営する、部活動やサークル・PTAなど13万団体・190万人が利用中の完全無料の多機能連絡網「らくらく連絡網」にて、2008年11月5日～11月18日の14日間、オンラインアンケート調査を行い、全世代と19～23歳、かつ学生における年賀状の利用実態調査を実施いたしました。



『らくらく連絡網』は完全無料で使える、安心・安全・便利な多機能連絡網サービスです。(http://www.ra9.jp/)

メール&モバイルサイトを活用した24時間・365日いつでも利用可能な連絡網システムを、部活動やサークル・PTAなど13万団体・190万人が利用中です。また、全国の学生の5人に1人が、『らくらく連絡網』を利用しており、学生の利用率が高いことが特徴です。

全世代と19～23歳、かつ学生の年賀状に関するアンケート調査 調査概要

調査方法: インターネットアンケート。無償対価。任意参加。

実施期間: 2008年11月5日(水)～11月18日(火)

対象地域: 全国

対象者: らくらく連絡網利用者 190万人。全年齢。

★「年賀状」を出さない若者が、約5割弱。

全体では「出さない」が27.9%に対し、19歳～23歳かつ学生では「出さない」との解答が46.8%。

★「あけおめメール」の利用比較はほぼ同じ。

全体と19歳～23歳かつ学生では、ともに「10通前後」がトップで、2位に「出さない」、3位に「30通前後」となっている。

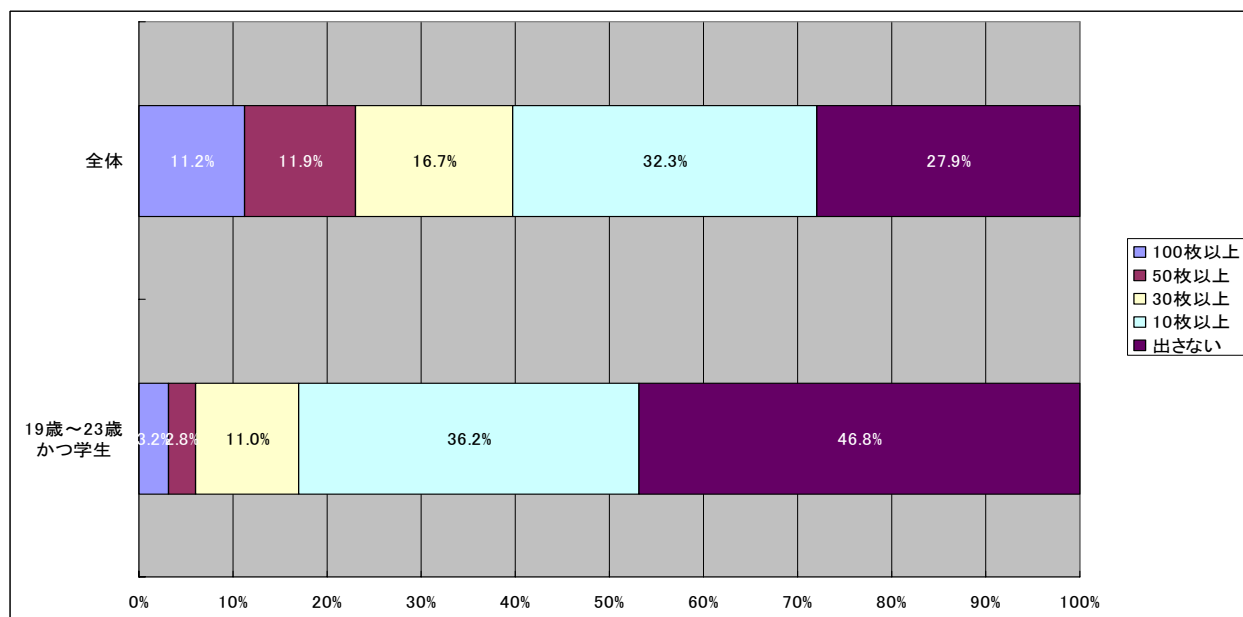
アンケート総括

今回のアンケート調査により、全体では「年賀状を出さない」と回答したのが、27.9%に対し、19歳～23歳かつ学生を対象にした場合は、46.8%に増加し、「年賀状を送る」という風習は、今の若い世代には衰退している傾向にあることがわかりました。

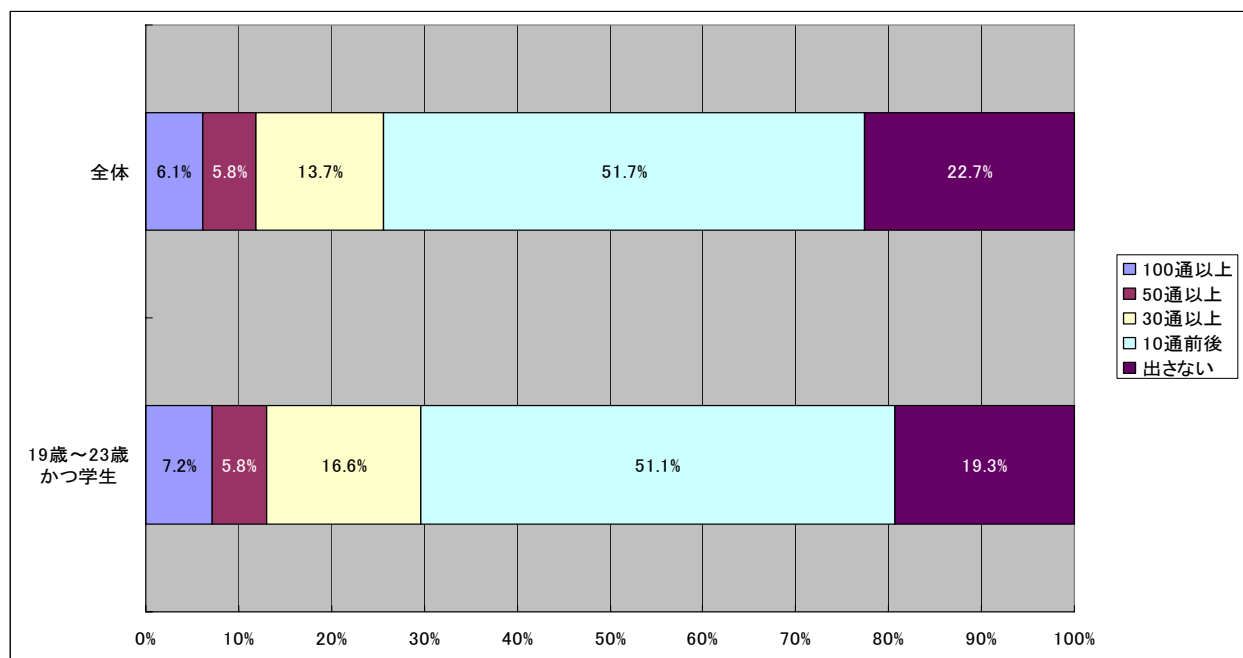
逆に、「あけおめメール」を送るという風習が、全体と19歳～23歳かつ学生では、ほぼ同じであり、ともに約8割が「あけおめメール」を送っており、メール文化が全世代に浸透していることが伺えます。

また、「年賀状を送る」「あけおめメールを送る」の枚数が一番多かったのが、ともに「10枚(通)前後」がトップであり、家族や親しい友人のみに年賀状を送るのは主流のようです。

「今年、年賀状は何枚出しますか？」(対象:全世代回答数742名／内19歳～23歳、かつ学生回答数218名)



「あけおめメールは何通出しますか？」(対象:全世代回答数706名／内19歳～23歳、かつ学生回答数223名)



< 報道関係者様へのお願い >

本リリース内容の転載にあたりましては、「**らくらく連絡網**」調べという表記をお使い下さいませよう、お願い申し上げます。
また、**その他アンケート結果(男女比、都道府県別、職業別、その他世代など)**について、ご希望の際は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

< 本件に関する報道関係者様の問い合わせ先 >

(株)イオレ モバイルコンテンツ事業部 担当:清水
TEL:03-5731-6840/FAX:03-5726-0371
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢2-25-2 2F
Eメール:pr-contents@eole.co.jp

本プレスリリースの掲載HP: <http://www.eole.co.jp/press/>
イオレHP: <http://www.eole.co.jp/>
らくらく連絡網HP: <http://www.ra9.jp/>